

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	交通計画事務管理事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	08	04	02	01	01
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	都市計画課					
施策	1-8	利便性と快適性を重視した公共交通機関の整備充実	主管課長	長橋 祐之					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	交通機関を利用する市民等	意図	円滑な交通計画事務の遂行を図れるようにする。
事業内容	交通計画共通の庶務経費の予算執行を行う。交通計画関連事務を適正に行う。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年8月のつくばエクスプレス開通や、バス交通の充実により、市内の交通利便性は向上している。 T X沿線整備による人口増加に伴い、市民の交通に関するニーズは多様化している。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	歳出伝票処理件数	20	21	19	件	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

関係機関との円滑な情報交換や、最新の交通計画情報を得ることにより、質の高い交通計画の推進を行うことができる。

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

- 平成30年度においては、ぐりーんバスの印刷物に係る消耗品の減少などから、平成29年度と比較して、歳出伝票処理件数は減少となった。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,239,812	2,192,882	2,152,142
事業費(b)(円)	180,312	179,282	174,542
うち一般財源	180,312	179,282	174,542
職員給与費(c)(円)	2,059,500	2,013,600	1,977,600
人役・職員(人)	0.30	0.30	0.30
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・常に削減意識のもと業務の執行にあたる。	③取組における課題(Check)	・T X東京駅延伸に関する業務などの増加
②H30に実施した取組(Do)	・T Xの東京駅延伸に向けた沿線都市及び関係団体との情報交換 ・各種協議会への出席	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	・引き続き削減意識を持って遂行していく。